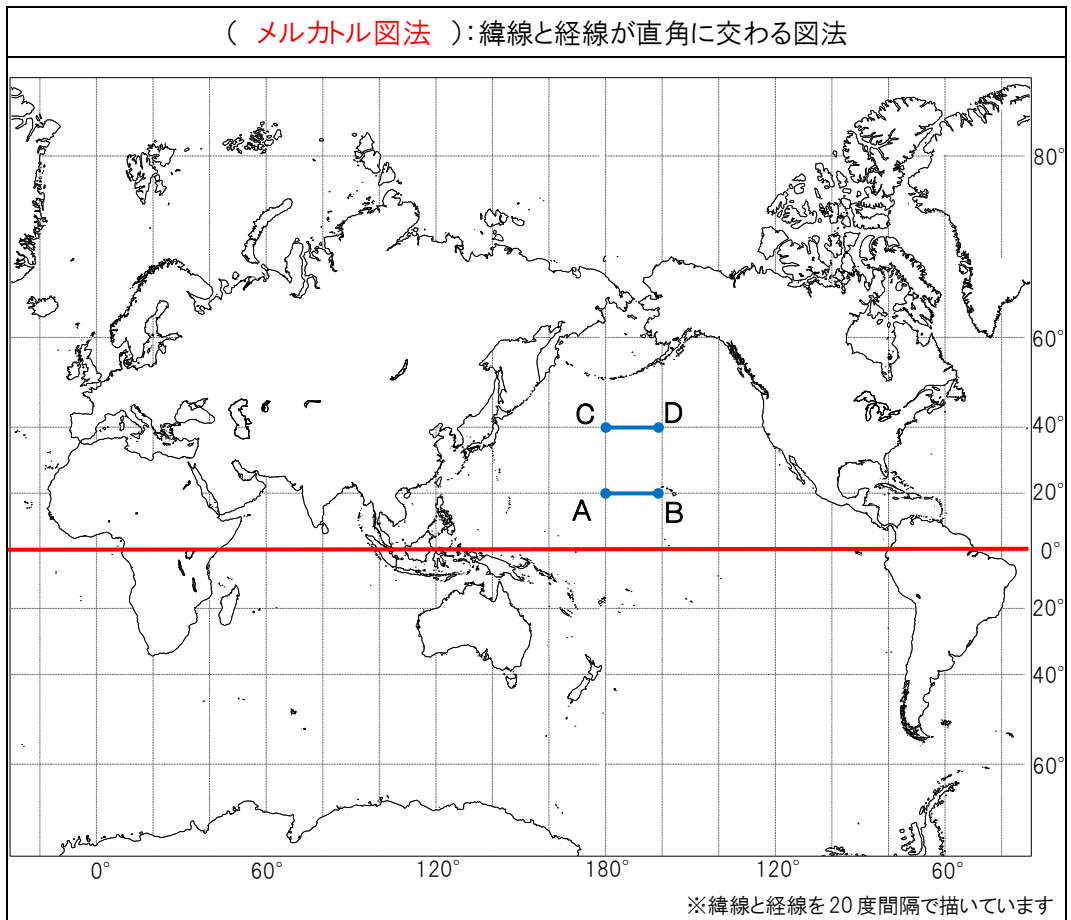


4 地球儀と世界地図

○地球儀と世界地図

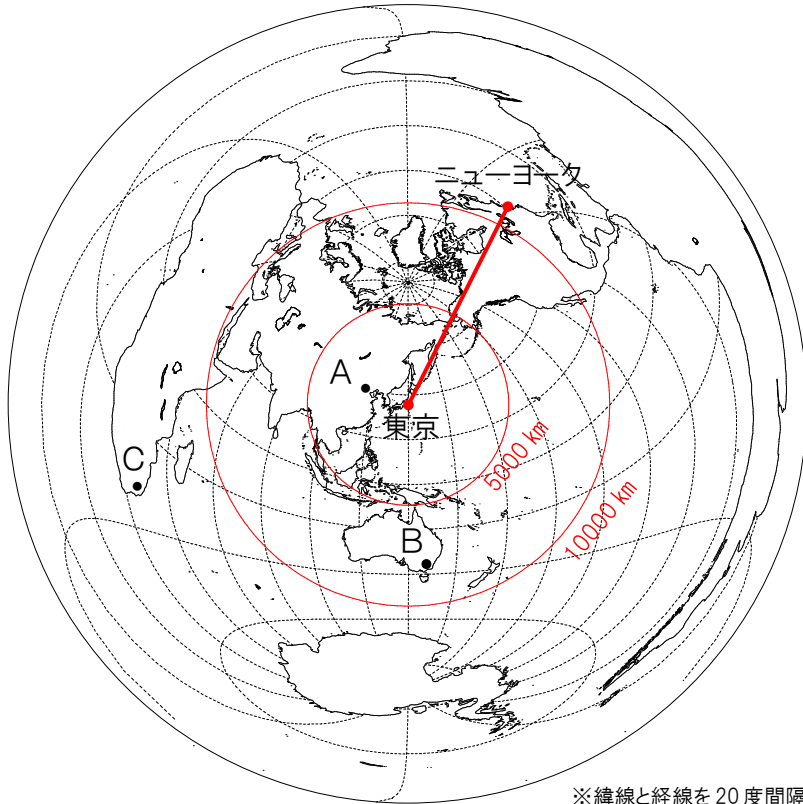
(**地球儀**) : 地球をそのままの形で縮小した模型のこと
→地球儀上では、距離・面積・形・方位が正しく表せる

(**世界地図**) : 世界全体を一度にみることができるようにつくられた地図のこと
→メルカトル図法や正距方位図法、せいきよほういずほうモルワイデ図法などの地図がある



特徴	緯線と経線が直角に交わる地図
	2地点の間を結ぶ直線は経線に対して角度が一定 →古くから航海図に利用される 高緯度ほど面積や距離、形のゆがみが大きい →地図上の2点間A-BとC-Dの実際の距離は、(A-B)の方が長い

(正距方位図法): 中心からの距離と方位が正しい図法



※緯線と経線を20度間隔で描いています

特徴

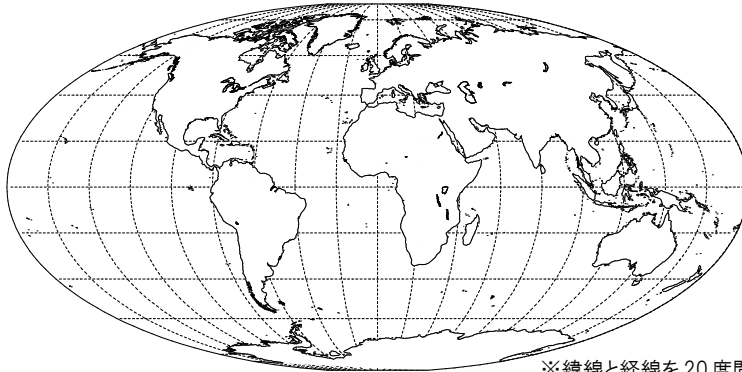
図の中心から他の地点との距離と方位が正しい

地図中の都市A～Cを東京からの距離に近い順に並べると、(A → B → C)

東京からみてニューヨークは(北東)にある

図の中心と任意の地点間の最短コースが直線で表せる→航空図に利用される
外周部分に行くほど陸地のゆがみが大きい

(モルワイデ図法): 面積が正しく表される図法



※緯線と経線を20度間隔で描いています

特徴

面積が正しく表せる

分布図などに利用される

高緯度地方の陸地の形は比較的ゆがみが小さい